

ふれあい情報 速報

■発行 日本高齢・退職者団体連合(退職者連合)
 ■発行人 羽山 治美 (編集人) 林 道寛
 ■連絡先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11
 Tel:03-5295-0507 Fax:03-5295-0541
 <e-mail>tais yokusharengo@sv.rengo-net.or.jp
 <ホームページ>http://tr.jtuc-rengo.jp

2014年 8月22日(金) **第187号**

(速報の記事・写真の転載は自由。データが必要な場合は送付可)

2014 年度第1回幹事会

＜介護保険制度充実・低所得高齢単身女性問題＞

政策実現へ、今秋全国行動の取り組みを決定

退職者連合は8月19日午後、連合本部8階の三役会議室で2014年度第1回幹事会を開きました(写真)。役員、幹事など35名が出席。会議では、第18回定期総会で決まった政策・制度要求の重点を決定するとともに2014全国高齢者集会と第1回組織代表者会議の実施内容について確認しました。なお、幹事会では3名の幹事の交代が承認されました。



幹事会であいさつする阿部会長
(8月19日、連合本部)

幹事会では、介護保険制度充実のため地域包括ケアシステムの確実な実現と介護予防・日常生活支援総合事業での歯止め対策、さらに低所得高齢単身女性問題の二つを2014年度の重点政策とすることを確認。



あわせて今後、これらの政策・制度要求運動のモデル案を中心にして地方退職者連合を軸に地域行動(県・市町村に対する要請)に取り組むことを決定しました。政策要求で全国的に運動を展開していくのは、昨年を引き続いたものです。なお、モデル要求案や展開の具体的実施要領などの意思統一は、9月16日開催の第1回組織代表者会議で行うこととしました。

みなさん
よろしくお願
いします。

＜新幹事の方々＞



本村富美子さん
(日退教)



北村典子さん
(全国退女教)



中里敏夫さん
(N退協)

連合第11回中執で阿部会長あいさつ

▼退職者連合第18回定期総会のお礼を述べる阿部会長。
(8月22日、連合会館2階大会議室)



第1回組織強化委員会 規約改訂作業がスタート

8月19日午前、連合本部3階で退職者連合第1回組織強化委員会が開か

れました。委員会では、定期総会
決定に基づき退職者連合の規約改
訂作業を具体化するため内部に
「規約等改訂検討会議」を設置。

作業内容や日程を決めるなど、改
訂作業がスタートしました。なお
この内容は、第1回幹事会で承認
されました。

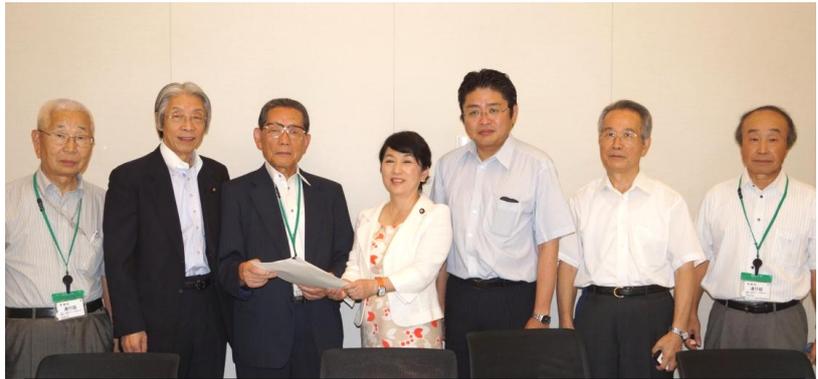
退職者連合「2014年社会保障制度等に関する要求」

社
民
党

実現求め、社民党に要請

～8月22日午前11時から第2衆議院議員会館第10会議室～

退職者連合の阿部保吉会長は、8月22日午前11時、第2衆議院議員会館で社民党副党首の福島瑞穂参議院議員に会い、政策・制度要求の実現に向けた協力要請を行いました。行動には、羽山治美事務局長、菅井義夫事務局次長、林道寛事務局次長、太田敏夫常任幹事(年金専門委員長)の4名が同行。また社民党からも、幹事長の又市征治参議院議員、政策審議会長の吉川元(はじめ)衆議院議員が出席しました。



▲福島副党首に要請書を渡す阿部会長(左から3人目)。写真右から太田常幹、菅井次長、吉川政審会長、福島副党首。左から羽山事務局長、又市幹事長。



核兵器廃絶1000万署名

No More HIROSHIMA! No More NAGASAKI! No More Nuclear Weapons!
「核兵器廃絶1000万署名」については
<http://www.jtuc-rengo.or.jp/>

連合・原水禁・KAKKIN

「核兵器廃絶1000万署名」については
<http://www.jtuc-rengo.or.jp/>

退職者連合の目標は150万筆です。
第1次締め切り日は9月30日。
**家族や友人、知人のみな
さんに広くよびかけ、運
動の輪を広げましょう!**

1000万署名の取り組みを強化しよう!

要請では冒頭、阿部会長が日頃からの社民党の支援に感謝を述べ、引き続いて政策要求について①マクロ経済スライドの発動②年金税制③地域包括ケアシステム④医療制度⑤介護保険制度⑥「認知症対策基本法」制定など6項目にわたってポイントを説明しました。また菅井次長からは、低所得高齢単身女性問題にかかる政策・制度要求の内容について説明しました。

～認知症対策～

福島副党首、意気込み見せる

政策をめぐっての意見交換では、「認知症対策」について福島副党首が「社民党として認知症対策をしっかりとっていききたい。早速取りかかりたい」と述べるとともに吉川政審会長も「認知症は社会問題であり、そのためには基本法が必要だ」との考えを示し、阿部会長もしっかり連携していききたいと応じました。吉川政審会長は「秋の臨時国会は、労働法制改悪問題で一色になる。党でもしっかりと対応していきたいが、退職者連合のみなさんもしっかり議論しながら進めていきたい」と意気込みを述べました。